

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	宗務行政の推進		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和26年度		担当課室	文化部宗務課		宗務課長 佐藤 安紀		
<b>会計区分</b>	一般会計		施策名	X III-4 文化芸術振興のための基盤の充実				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	宗教法人法 第14条 文部科学省設置法 第4条第89号等		関係する計画、通知等	-				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	宗教法人法に基づく宗教法人の規則認証等行政事務処理、宗教に関する情報資料の収集や宗教法人の適正な管理運営に資する事業を通じて、円滑な宗務行政の推進を図る。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	宗教法人の規則認証等経常的に必要な行政事務処理、不活動宗教法人の整理促進のための対策、宗教事情等に関する調査及び宗教関係統計等資料の収集整理のほか、宗教法人の管理運営に係る資料の作成、宗教法人等に対する実務研修会等宗教法人の適正な管理運営に資する事業を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	69	64	56	44	44	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	69	64	56	44	44	
	執行額	43	42	39	-	-		
	執行率 (%)	63.0%	65.1%	69.5%	-	-		
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	宗教法人実務研修会 受講者の満足度(「とても有意義であった」「有意義であった」と回答する割合)		成果実績	%	91	88	87	90
			達成度	%	101	98	97	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	認証事務実施件数		活動実績 (当初見込み)	41	38	51	-	
				-	-	( - )	( )	
<b>単位当たりコスト</b>	認証事務実施件数 25,300(円/件数)		算出根拠	当該事業の予算額を認証した件数で除して件数あたりの所要額を算出した。予算額は宗務行政事務処理の内数である認証・事務指導(1,290千円)とした。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	3百万円	3百万円					
	職員旅費	5百万円	5百万円					
	委員等旅費	3百万円	4百万円					
	庁費	26百万円	25百万円					
	文化芸術振興委託費	7百万円	7百万円					
	計	44百万円	44百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	宗教法人法に基づく認証事務等を国、地方が役割分担して事務を行っている。 不活動宗教法人対策推進事業の支出委任の支出額が少なかったため。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	資金の支出に当たっては、競争入札、見積もり合わせを行うことにより競争性の確保、コスト削減に努めている。 認証事務は所轄庁である国の義務行為であること、信教の自由を受益者負担で制限することはできないため、当該事項は評価対象外とする。 また、資金は文部科学省から委託者に支出され、委託者が使用することから、中間段階は存在せず、評価することができない。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	年間を通じて活動目標を立て、着実に実施している。 認証事務は所轄庁のみ行える業務であり、他の手段を講じることができない。 また、宗教法人法及び文部科学省設置法で担当部署が明確に規定されており、他の事業と類似性もないことから、役割分担の是非を評価することはできない。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>宗教法人の規則、規則の変更、合併及び任意解散の認証並びに宗教に関する情報資料の収集及び宗教団体との連絡を着実にし、その成果を上げた。 競争入札・見積もり合わせの積極的な導入により、一部事業で執行残が生じることとなったが、計画的な業務執行に努めたことにより、全体として昨年度より執行率は上昇した。 また、海外の宗教事情に関する調査について調査成果をまとめることができたことから、平成23年度で終了した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、円滑な宗務行政を推進するための認証事務、資料作成・収集、研修会や調査に要するものであり、予算執行状況の観点から検証する。 2. 所見：本事業は平成21年度より予算に不用が生じているが、平成24年度当初予算において既定予算の縮減を図るなど一定の見直しを実施しているところである。予算執行の実績把握及び予算との差異の要因分析等を適確に行い、平成24年度新規メニューの進捗状況等を踏まえつつ、積算の見直し等により引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>平成25年度概算要求にあたっては、平成23年度執行実績を踏まえて不活動宗教法人対策に必要な弁護士・司法書士事務費の日数を見直すことにより、概算要求に▲1百万円反映した。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>宗務行政について理解を得られるよう文化庁HPに情報を掲載している。 <a href="http://www.bunka.go.jp/shukuyouhoujin/index.html">http://www.bunka.go.jp/shukuyouhoujin/index.html</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0499	平成23年行政事業レビュー	0423

※平成23年度実績を記入

文化庁  
39百万円

諸謝金 2百万円  
職員旅費 6百万円  
委員等旅費 1百万円  
庁費 17百万円

を含む

〔宗務行政の推進〕

※庁費は雑役務費、消耗品の購入等であり、1件1百万円以上のものはない

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

【企画競争・請負】

A. 治田会計事務所  
4百万円

〔平成23年度宗教法人実務研修会における講義等業務の委託〕

※庁費等執行分

【随意契約・製造請負】

B. 株式会社ぎょうせい  
2百万円

〔宗教年鑑(平成22年版)の印刷〕

※庁費等執行分

【一般競争入札・請負】

C. シー・ディー・アイ株式会社  
5百万円

〔平成23年度海外の宗教事情に関する調査業務の委託〕

※庁費等執行分

【一般競争入札・委託】

D. アシスト・マイクロ株式会社  
0.2百万円

〔宗務時報電子データ加工業務〕

【随意契約・委託】

E. 株式会社HBA  
0.9百万円

〔宗教統計システムの改修業務〕

【随意契約・委託】

F. 株式会社サンコー  
0.8百万円

〔宗教年鑑の電子化及び合本製本業務〕

【随意契約・委託】

G. 株式会社HBA  
0.7百万円

〔宗教法人台帳システムの改修業務〕

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

費目・用途  
 (「資金の流れ」において  
 ブロックごとに最大の金  
 額が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使  
 途の双方で実情が分かる  
 ように記載)

A.治田会計事務所			E.株式会社HBA		
費目	用途	金額 (百万円)	1	用途	金額 (百万円)
人件費	講義、テキスト校正・作成・編集	2	委託費	宗教法人台帳システム改修	0.9
事業費	現地講師講義謝金、旅費、消耗品費、雑役務費	1.3			
一般管理費	—	0.3			
計		4	計		0.9
B.株式会社 ぎょうせい			F.株式会社サンコー		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
印刷費	宗教年鑑(平成22年版)の印刷	2	委託費	宗教年鑑の電子化及び合本製本業務	0.8
計		2	計		0.8
C.シー・ディー・アイ株式会社			G.株式会社HBA		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	調査補助、報告書取りまとめ	4	委託費	総務省提出データの登録及び出力のためのシステム改修	0.7
その他	資料購入、報告書印刷等	1			
旅費	現地調査、会議出席	0.3			
計		5	計		0.7
D.アシスト・マイクロ株式会社					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	宗務時報のデータ化及び加工業務	0.2			
計		0.2	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	治田会計事務所	平成23年度宗教法人実務研修会(会計・税務に関すること)実施	4	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 ぎょうせい	宗教年鑑(平成22年版)の印刷	2	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	シー・ディー・アイ株式会社	平成23年度海外の宗教事情に関する調査業務	5	2	88.2%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アシスト・マイクロ株式会社	宗務時報のうちNo.1～No.50について、PDF化し、インデックスを付す作業	0.2	21	44.4%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社HBA	宗教法人台帳システムでのみ更新できた最新データを宗教統計システムでも更新できるようにシステムを改修	0.9	随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社サンコー	発行済みの宗教年鑑(昭和25年～平成19年)をPDF化し、保存用として昭和61年～平成20年までの宗教年鑑23冊を合本化した。	0.8	随意契約	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社HBA	統計法第27条に基づき総務省より提出を求められている、事業所母集団データを登録・出力できるようシステムを改修	0.7	随意契約	—